

八丈島 水産だより

4月号

2015



オオシマザクラ



八丈富士とフリージア

暖かな日が続き、桜の便りが東北地方まで届いています。3月下旬は良い天気が続いた八丈島ですが、4月に入り、前線が停滞して、濃霧で視界の悪い日が多くなっています。今月5日まで行われた第49回八丈島フリージアまつりの八形山会場には色とりどりのフリージアが咲いています。オオシマザクラの花も咲き、八丈富士のところどころに白い模様を作っています。

春の漁模様



トビウオ(ハマトビウオ)



カツオ

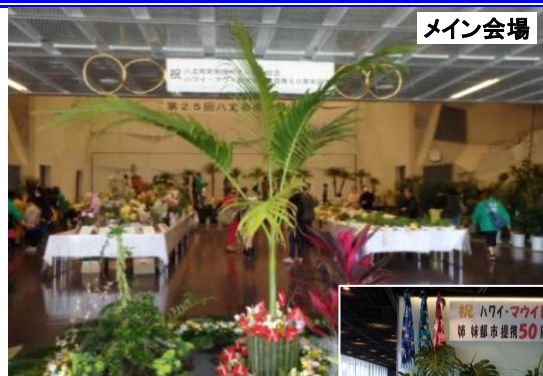
トビウオ漁は3隻が操業しています。3月中旬ごろにまとまった水揚げがありましたが、黒潮が大きく蛇行して青ヶ島の南を通り、八丈島の周りには冷水塊(冷たい海水の塊)ができ、水温が低くなっています。そのため、トビウオの群れが島の近くに寄らず、水揚げ量が増えていません。

また、ひき縄漁では、今年もカツオの水揚げが少なく、八丈島の春を告げる代表的な魚2種が見られず、寂しく感じられます。

産業祭が行われました

3月21～22日、八丈町役場を会場に「八丈島産業祭」が開催され、花、観葉植物、農作物や工芸品などの品評会と表彰式が行われました。

今年ハワイ・マウイ郡姉妹都市提携50周年記念行事の一環としてハワイ関連の企画が実施されました。「八丈島の食材で作るハワイアンフード」では、漁協女性部のトビウオすり身とムロアジミンチ、農協女性部の八丈フルーツレモンと野菜を使ったハワイ料理が登場。限定200食の試食には長い列ができ、2日間ともに開始わずか1時間ほどで終了、大好評でした。



メイン会場



試食の3品



交流のあゆみを紹介



長い列ができました